

# 家族への手紙コンクール入賞者



日頃、面と向かうとなかなかうまく伝えられない思いや感謝の気持ちなどがつづられた手紙が、388通寄せられ、次の皆さんが入賞しました（敬称略）。

問 生涯学習課（☎62-1036）

## 【最優秀賞】 1人

「拝啓 おじいちゃん おばあちゃん」  
中村宥紀子（刈谷東中3年）

## 【優秀賞】 10人

「大すきなお父さんへ」  
沖元香遥（住吉小3年）

「いつもありがとう」  
東出桜空（住吉小5年）

「お母さんへ」  
磯村美文（日高小6年）

「父と私をつなぐメール」  
酒井怜実菜（かりがね小6年）

「大好きなお父さん」  
木原世理菜（富士松南小6年）

「一緒に理解を深めようよ」  
二宮翔琥（刈谷東中1年）

「父との思い出」  
鳥居駿介（富士松中2年）

「母ちゃんへ」  
阿知波咲人（刈谷東中3年）

「高校生で成人する次男へ」  
浅井美智子

「親のわがまま」  
吉崎裕樹（株エフエムキャッチ）

## 最優秀賞

### 「拝啓 おじいちゃん おばあちゃん」 中村宥紀子

お元気ですか。コロナ禍の生活になって一年半。最後に会ったのは、私が中学一年生の冬休みだったね。帰る時、二人から優しくぎゅっとしてもらった温もりが今はすごく懐かしいよ。笑顔で別れたあの時には、その先の未来にこんな悲しい現実が待っているなんて思いもよらなかつたよね。こんなことになるなら…と後悔ばかり。私の心はずっと霧がかかったようにもやもやしている。

そんな私へ今年の夏も誕生日のプレゼントを送ってくれてありがとう。配達の方から手渡された段ボール箱はずっしり重くてびっくりしちゃった。私の好きなものばかりが次から次へと出てきて、おめでどうのお祝いの気持ちがたくさん伝わってきたよ。中でも一番嬉しかったのは、ツヤツヤに美しく輝いているスイカ。二人がああ焔で心を込めて育てている姿が目に見えただよ。話してなかったけど実は私、スイカアレルギーになってしまったって、食べると体がかゆくなるんだ。でも、あまりにも立派でおいしうだから、私へのプレゼントだし一口だ

けならいいよねってかじっちゃった。とっても甘くておいしかった。そんな私を見て、隣でお母さんが泣いていたよ。お母さんも二人に会えない辛さをじっと我慢しているんだろうなあ。

会えなくなったからこそ気付いたこともあるよ。小さい頃から会いに行く度に頭をなでて何度もほめてくれたよね。私のどんな姿も否定せずにいつも応援してくれたよね。その優しさ、温かさに私はどれだけ支えられていたか、二人の存在の有難さを今感じているよ。当たり前だと思っていた色々な景色が実は特別で、私の成長にとって尊い機会をたくさんもらっていたことに気が付き、感謝の気持ちでいっぱいだよ。本当にありがとう。今私が一番やりたいことは、一緒に畑に行って農作業のお手伝いをする事。会えるのが楽しみだね。健康に気を付けて元気なでいてね。

